

平成 28 年社会生活基本調査 — 生活行動に関する結果 —

静岡県の概要（要約版）

社会生活基本調査とは

- 国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について、昭和51年以来5年ごとに調査
- 平成28年10月20日現在で実施され、対象者は、指定調査区に居住する約88,000世帯（静岡県約1,800世帯）の10歳以上の世帯員
- 今回の「生活行動に関する結果」は、平成29年7月14日に総務省統計局から公表された過去1年間の生活行動（自由時間における主な活動：学習・自己啓発・訓練、スポーツ、趣味・娯楽、ボランティア活動及び旅行・行楽）に関する集計結果について、本県分を取りまとめたもの
- 全国の集計結果は総務省統計局ホームページに登録
URL <http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/kekka.htm>
- 生活時間に関する結果は、平成29年9月15日及び12月に総務省統計局から公表される予定

【用語】

行動者数 過去1年間に該当する種類の活動を行った人の数

行動者率 行動者数の10歳以上人口（推定329万4千人）に占める割合（%）

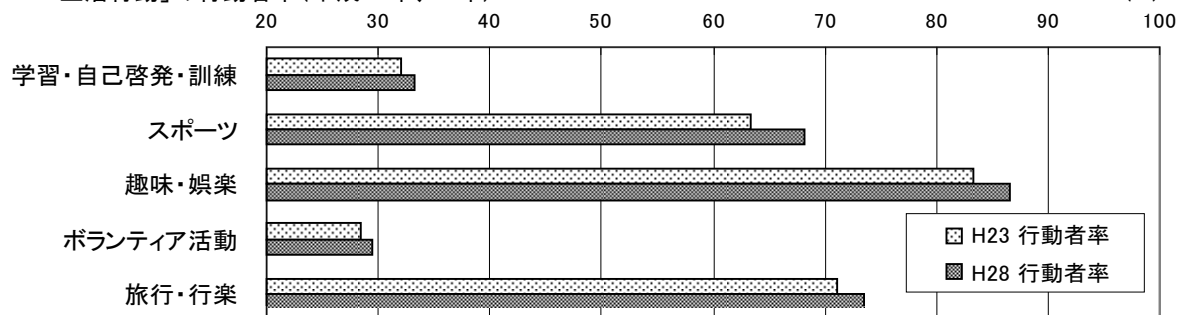
生活行動の5つのすべての項目で、5年前より行動者数、行動者率がいずれも上昇した。

単位：千人、%

生活行動の内容	平成28年		平成23年		28年-23年	
	行動者数	行動者率	行動者数	行動者率	行動者数	行動者率
学習・自己啓発・訓練	1,097	33.3	1,068	32.0	29	1.3
スポーツ	2,247	68.2	2,117	63.3	130	4.9
趣味・娯楽	2,852	86.6	2,780	83.2	72	3.4
ボランティア活動	967	29.4	952	28.5	15	0.9
旅行・行楽	2,421	73.5	2,374	71.0	47	2.5

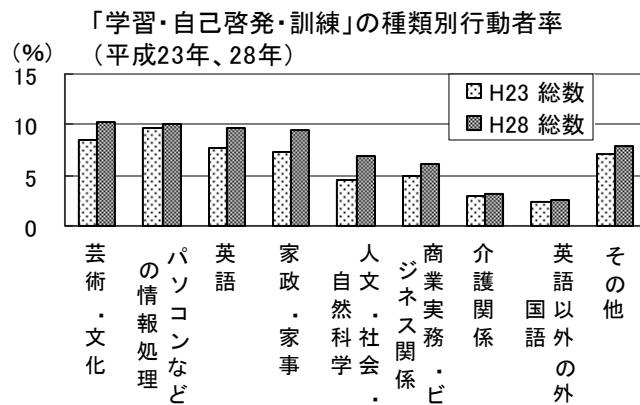
「生活行動」の行動者率（平成23年、28年）

(%)



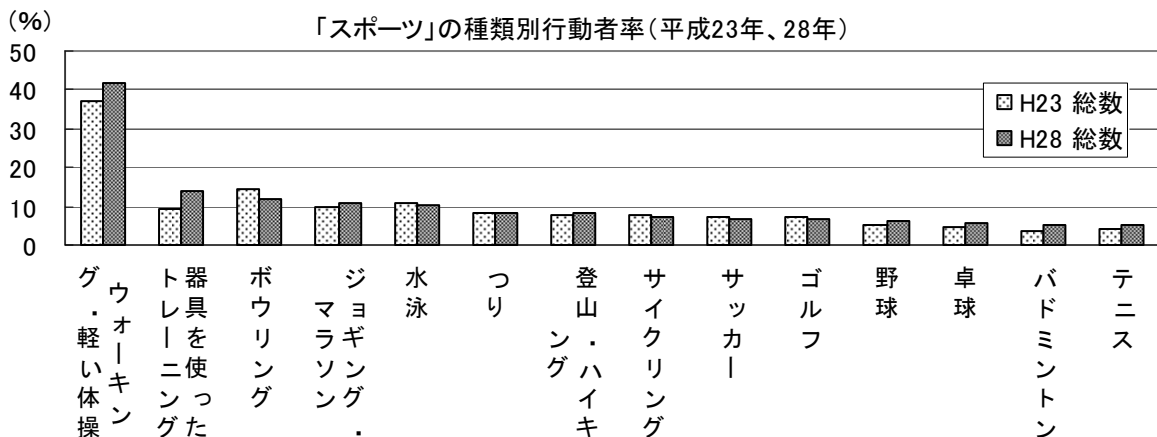
1 学習・自己啓発・訓練

- 1年間に「学習・自己啓発・訓練」（仕事や学業は除く）を行った人は109万7千人
- 行動者率は33.3%で5年前より総数で1.3ポイント、男性1.2ポイント、女性1.5ポイント上昇、全国27位
- 行動者率は5年前よりすべての種類で上昇、最も上昇幅の大きいのは「人文・社会・自然科学」で2.3ポイント



2 スポーツ

- 1年間に「スポーツ」を行った人は224万7千人
- 男性の72.4%、女性の64.1%が何らかの「スポーツ」を行っている
- 行動者率は68.2%で5年前より総数で4.9ポイント、男性3.8ポイント、女性5.9ポイント上昇、全国13位
- 「サッカー」は行動者率6.8%で全国3位（男性2位、女性21位）

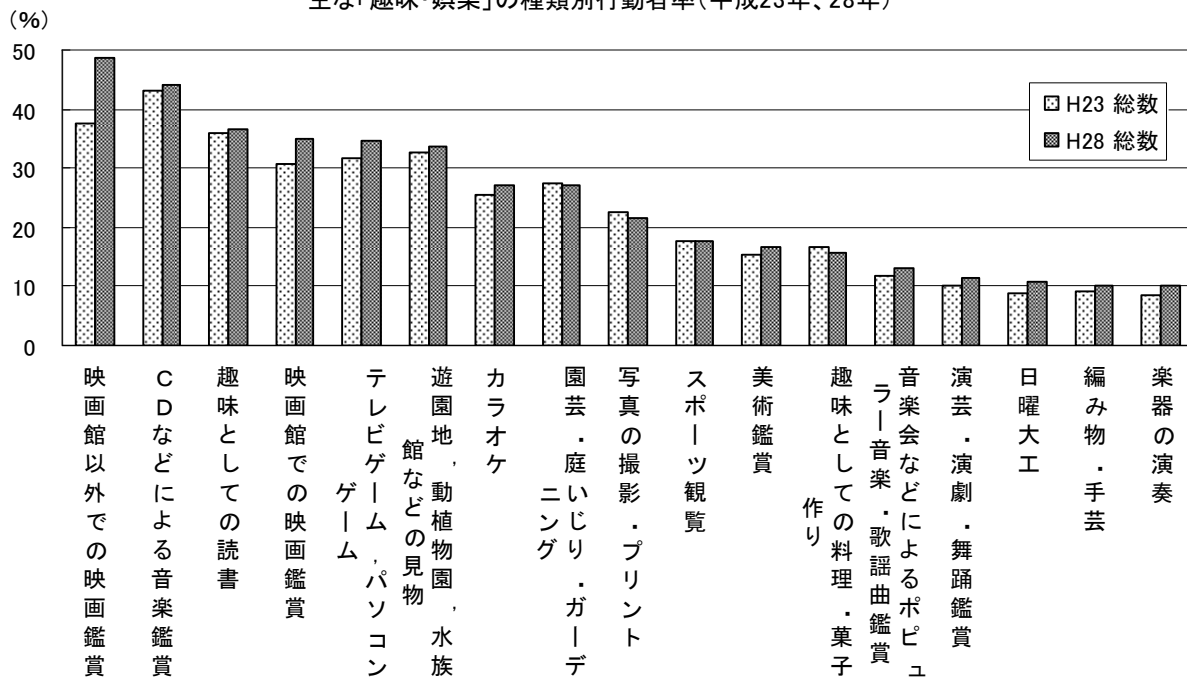


(注) 行動者率（総数）が5%以上の種類を表章

3 趣味・娯楽

- 1年間に「趣味・娯楽」を行った人は285万2千人
- 男性の87.2%、女性の86.0%が何らかの「趣味・娯楽」を行っている
- 行動者率は86.6%で5年前より総数で3.4ポイント上昇、全国16位
- 「映画館以外での映画鑑賞」、「CDなどによる音楽鑑賞」などが高い

主な「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成23年、28年)

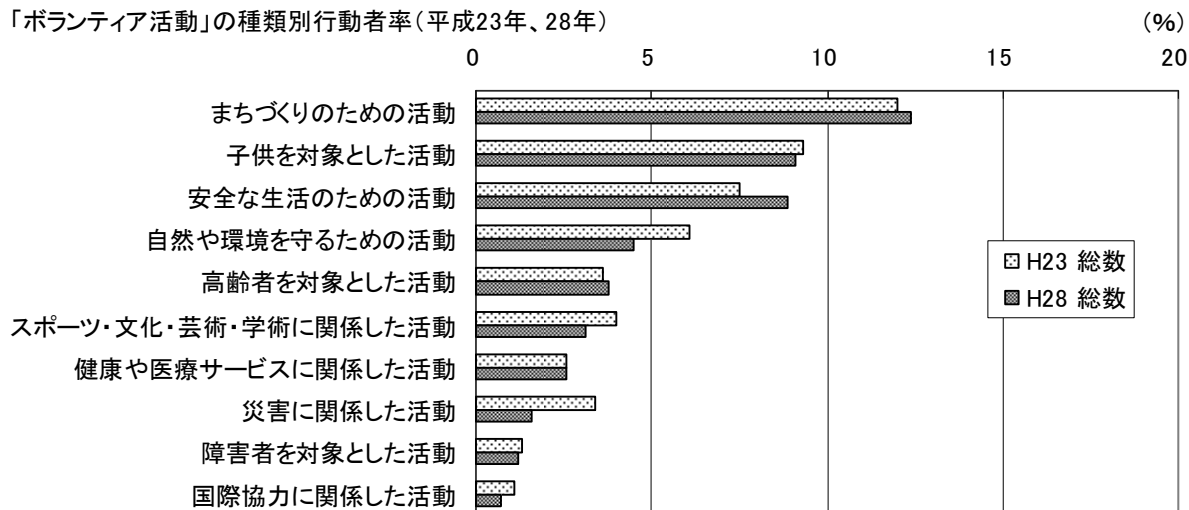


(注) 行動者率が10%以上の種類を表章

4 ボランティア活動

- 1年間に「ボランティア活動」を行った人は96万7千人
- 行動者率は29.4%で5年前より0.9ポイント上昇、全国17位
- 「安全な生活のための活動」は行動者率8.9%で全国1位(男性1位、女性4位)

「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成23年、28年)



5 旅行・行楽

- 1年間に「旅行・行楽」を行った人は242万1千人
- 行動者率は73.5%で5年前より2.5ポイント上昇、全国18位
- 行動者率は「観光旅行（海外）」を除くすべての種類で5年前より上昇

